

テスト・テストバッテリーについて

これまでのご意見

- テストとアンケートをしっかりと整備してはどうか
- 教育効果のチェックの仕方を整備してはどうか
- 教育の質保証は念入りにするべきである
- 単元ごとのテストと最後に全体テストをしてはどうか
- テストは選択式にしてはどうか
- ムークスのシステムにある相互採点の仕組みを取り入れてはどうか
- テスト形式は択一式が基本だが、○×だけでなく、三択四択五択も可能ではないか

○今年度の論点(R4年度第一回検討会より)

テスト・テストバッテリーの具体案

- 防災基礎コースのオンデマンド化に合わせたテスト
- 研修受講後、一定期間をあけた後のテスト(フォローアップテスト)、等

喫緊の課題：
今回の論点



テスト・テストバッテリーについて

- ・ 防災基礎コースのオンデマンド修了をどう評価するか？
- ・ 評価方法の可能性の一つとしてテストを行ってはどうか？

これまでのテスト・テストバッテリー

- ・ 有明の丘研修では**受講者の理解を確認するための確認テスト**を行う
- ・ 各単元毎に5問程度の○×確認テストを出題する
- ・ コース最後に各単元から一問ずつランダムに抜き出し、最終問題を作成
- ・ 0点でも100点でも修了は認められ、テストは繰り返し受けられる
- ・ 見直しで悪問を排除するが、基本的に毎年、テスト問題は同じもの
- ・ テスト・バッテリーは現状、毎年ほぼ同じ



防災基礎コースのテスト（案）

- ・ 多肢選択問題にしてはどうか
 - ・ 不正解時、解説(単元での説明箇所や動画)が始まる形式はどうか
 - ・ 全問正解するまで修了できないようにしてはどうか
 - ・ 出来る限りインストラクショナルデザインに合わせてはどうか
- ⇒15分動画一つに対して、学習項目一つ、問題を1問出題してはどうか
- ⇒15分動画に対し、問題を3パターン作成、ランダム出題してはどうか